

17地区での自由枠交付金の使い方などを紹介！！



# 地域で生きる自由枠交付金

## Part 7

### 山田地域コミュニティ協議会

#### ●自由枠交付金制度の活用について

市の自主防災補助金の対象外であった組織も山田地域全体で機能するように、まとまった組織を設立。住民がより有効に活動に取り組みやすくなったほか、防災マップの配布、防災備品の整備を行うことができました。また、防災委員などが地域を見回り、危険な箇所を把握するなど、地域に一体感を生むこともできました。

#### ●今後の課題

山田地区の一番の問題は人口減少。担い手不足が深刻なので、この制度を活用し、何らかの形にして後世に残したいと考えています。現在、三世交代交流などのイベントも計画中です。

山田地域コミュニティ協議会

福田 正宏さん



住民全員がこの制度を共有すること、住民が一丸となって地域づくりに協力していくことが重要だと考えています。



毎年行っている元旦鬼ノ身城跡山頂ご来光行事。参加者に温かいぜんざいやミカンなどを振舞っている

## 主な活動内容

事業名	活動内容
地域防災事業	防災訓練、防災講座の開催
道路・水路を守る事業	農道、市道、ため池などの草刈り
環境美化事業	史跡・公園などの草刈り、清掃
夏祭り開催事業	盆踊りや屋台の運営
地区民・幼稚園 合同運動会開催事業	住民相互の親睦・交流を深めるための運動会を実施
ご来光行事開催事業	ぜんざいやミカンの配布
地域防犯対策事業	防犯灯の設置、防犯教室の開催



せんだい3.11メモリアル交流館の職員から震災当時の様子について説明を受ける総社中学校の生徒

また、そうじゃ吉備路マラソンに参加した生徒が在籍する、津波の被害を受けた仙台市立七郷中学校を訪問。約2か月ぶりの再会で交流を深めたほか、震災時の様子や資料を集めた交流館を見学。震災の悲惨さや復興の状況などを聞き、継続的な支援の大切さを実感していました。

「そうじゃ・宮城っ子基金」の支援を縁に、総社市と仙台市が開催するマラソン大会を通じて交流しようと、平成25年6月に連携協定を締結。この協定により、5月8日に仙台市で開催された仙台国際ハーフマラソン大会に、総社中学校の3年生4人が招待され、新緑の都仙台を駆け抜けました。

生徒は2kmのコースを完走。秋山岳斗さんは、「走っている時に見える景色がとてもきれいで、それを楽しみながら走りました」と感想を述べました。



完走証を手にする生徒

## 仙台国際ハーフマラソン大会 復興支援でつながる絆

## ふるさと納税推進協力事業者を募集

販路を拡大しよう！！

# ふるさと納税で全国にPR！！

市では、ふるさと納税の寄付者へお礼の品として贈る商品やサービス（返礼品）を提供していただける「総社市ふるさと納税推進協力事業者」を募集しています。

ふるさと納税制度を活用して、総社市ゆかりの魅力ある商品やサービスを全国にPRしませんか。販売量や販路を拡大することで地元産業が活性化。また、寄付金が増加することで、市の財源確保につながることを期待しています。

#### 対象事業者

市内に事務所、営業所、支店などがある事業者（法人・個人）

#### 提供いただく返礼品

市内で製造、生産、販売している商品や事業者の施設（店舗）で利用できるサービスなどで、市のPRや地域振興につながるもの

※市からの依頼後、速やかに返礼品が発送できること

※飲食物の場合は、原則として、商品到着後5日程度の賞味期限が保証されるものであること

※市は右の返礼品の区分に応じて、推進協力事業者に代金（商品代、送料、消費税を含む）を支払います

返礼品の区分 (送料・消費税込み)	市から推進協力事業者へ 支払う額
5000円相当の品	5000円
1万8000円相当の品	1万8000円
3万円相当の品	3万円
6万円相当の品	6万円

※上記以外にも、12万円、18万円、24万円相当の設定もあります



#### 申込方法

「総社市ふるさと納税推進協力事業者申込書」に必要事項を記入し、返礼品の写真や資料などを添付して、ふるさと納税推進室に持参か郵送、ファクシミリ、電子メールで申し込む。（申込書は市ホームページからダウンロードできます）



申込先・問い合わせ ふるさと納税推進室 (☎② 8211、Fax ② 8381、〒719-1192 中央一丁目1番1号、Eメール henreihin@city.soja.okayama.jp)

## 平成28年ふるさと納税の途中経過

今年も全国から総社市に、ふるさと納税として多くの寄付をいただいています。5月17日現在の寄付総額は右のとおりです。

寄付総額  
**3億3934万円** (5月17日現在)

#### ふるさと納税「そうじゃのお米」

全国の皆さまにご好評をいただいております。申し込み数量が開始から4か月で9000俵を超えました。

申し込み数量  
**9793俵** (5月17日現在)

